

くむ。摂受しよくじゆの者は折伏しやくぶくをわらう。折伏しやくぶくの者は摂受しよくじゆをかなしむ。無智悪人の国土に充滿の時ときは摂受しよくじゆを前まへとす。安樂行品のごとし。邪智じやくち謗法ぼうぼうの者多時おほきは折伏しやくぶくを前まへとす。常不輕品のごとし。譬たとへへば熱時に寒水かんすいを用もち、寒時さむきに火をこのむがごとし。草木は日輪にっりんの眷屬くわんじゆつ、寒月かんげつに苦をう。諸水しよすいは月輪がつりんの所従しよじゆう、熱時ねつじに本性ほんじやうを失うし。末法まつぽうに摂受しよくじゆ・折伏しやくぶくあるべし。所謂いわゆる悪国あくこく・破法はふぽうの両国りやうこくあるべきゆへなり。日本国にっぽんこく当世たうせいは悪国あくこくか破法はふぽうの国くにかとするべし。

問と云く、摂受しよくじゆの時折伏しやくぶくを行すると、折伏しやくぶくの時摂受しよくじゆを行すると利益りやくあるべしや。答こたへ云く、涅槃經にわんぎやう云く、「迦葉かじやく菩薩ぼさつ、仏ぶつに白まをして言まをさく○如来にがひの法身ほふしんは金剛こんごう不壞ふゑなり。未いまだ所因しよじんを知しること能あたわず、云何いかに。仏ぶつの言のたまはく、迦葉かじやく、能よく正法しやうぽうを護持ごぢする因縁いんげんを以もつての故ゆゑに、是この金剛こんごう身を成就じゆじゆすることを得えたり。迦葉かじやく、我われ護持ごぢ正法しやうぽうの因縁いんげんに、今こ是この金剛こんごう身しん常じやう住じゆ不壞ふゑを成就じゆじゆすることを得えたり。善男子ぜんなんし、正法しやうぽうを護持ごぢする者は五戒ごけいを受けず、威儀ゐぎを修しゆせず、応おほに刀劍たうけん・弓箭きうせんを持もつべし。○是かくの如ごとく種々しゆしゆに法ほふを説しやくくも、然しかも故師こし子し吼こを作なすこと能あたわず。○非法ひぽうの悪人あくにんを降伏かうぶくすること能あたわず。是かくの如ごとく比丘びくしゆは、自利じりし及び衆生しゆじやうを利きすること能あたわず。當あたに知しるべし、是やからの輩やからは懈怠けだいちん懶惰らんたなり。能よく戒けいを持もち、淨行じやうぎやうを守護しよごすと雖なも、當あたに知しるべし、是この人は能よく為なす所無しよからん。乃至な、時ときに破戒はけいの者もの有ありて、是ことばの語ことばを聞き已まりて、咸みな共に瞋しん恚いして、是ほつしの法師ほふしを害がいせん。是ことばの説法しやくぽうの者もの、設たとい復命ふくめい終しゆうすとも、故持戒こぢけい自利じり利他りたと名なく」等な云く。章安しやうあん云く、「取捨得宜しよしやくとくぎ、不可ふか一向いかう」等な。天台たいたい云く、「適時而已しやくじのみ」等な云く。譬たとへへば秋あきの終しゆうに種子たねを下おろす、田畠たなはちをかえさんに稻米いぬまいをうるることかたし。建仁けんにん年中なごうに法然ほふぜん・大日だいにちの二人ににんしゆつたい出来いて、念仏宗ねんぶつしゆ・禪宗ぜんしゆを興行こうぎやうす。法然ほふぜん云く、「法華經ほふがきやうは末法まつぽうに入いりては、